

所在地：目黒区五本木 2 - 24 - 3 東急東横線 祐天寺駅 徒歩 10 分

学校名： 五本木小学校		作成年月日：H.10.07.07	調査日：H.16.07/16.7/23
施設タイプ		地上シート型	
環境概況	植 物	<ul style="list-style-type: none"> ・水面のスイレンと水際のコガマやエゾノサヤヌカグサが繁茂しているため、セリ、ミゾソバ、イなどが生育している範囲が減少している。 ・水中にはコカナダモは減少している。 	
	動 物	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカの生育が良好である。 ・ヤゴの脱け殻を確認した。 	
	水 質	<ul style="list-style-type: none"> ・透明度があり、良好である。 ・給水は、主に主事、児童は遊びの範囲で行っている。 	
	周 辺 環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・草本類を育成する部分を設けた部分は、徐々に草本が増加しているが、バツタ類が生育するためには、継続的な育成が必要である。 ・周囲の樹木は、剪定が行われており、生育により池を覆う危険性は少なくなっている。 	
	土 壌	<ul style="list-style-type: none"> ・池周りはシートが露出して、草が生育できない状態が続いており、泥上げ、土の補給とともに、池周辺の再整備が必要である。 ・周囲の土が入り水深は、深くても 40cm 程度である。 	
活動状況	管 理 体 制	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生が担当となって関わっていく体制となった。 ・6年生有志により7月に草取り作業を行った。 	
	管 理 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・スイレンやエゾノサヤヌカグサが繁茂して水面の8割ほどが覆われていたが、草取り作業によって7割ほどが確保された。 	
	利 用 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで定期的な観察は行われてこなかったが、担当学年によって観察していくことを考えている。 	
今後の予定・計画		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は担当の学年が確定せず、今後の活動計画が立てられていない。 	

作成後の主な活動経過

年月日	活動内容	参加形態
H. 11.07.07	池の作成	6年生
09.17	上目黒小学校に水草の提供	6年生
12~	授業における活用	各学年
12~	水面の確保を行うため水草取り（オオカナダモ、スイレンなど）を随時行った	主事、校長
14.07.11	草本類の除去及び泥上げ シュロガヤツリは繁茂が著しいこと、園芸種であることから全て除去した	2 . 4 . 5 年生有志
15.07.28	スイレン、キショウブ、オオカナダモなどの草取り作業を行った。	6年生有志
16.07	周囲の草刈りと池の中の清掃を行った。	

調査時（平成15年7月）



水面のスイレン、水辺のコガマ、エゾノカヤヌカグサなどの繁茂により、水面の観察がしにくい状態になっている。

草取り後（平成15年8月）



周囲のコガマ、エゾノカヤヌカグサや水中のスイレン、コカナダモなどを中心に除去を行い、水面が確保された。

調査時（平成16年7月上旬）



コガマ、ハナショウブ、エゾノカヤヌカグサが繁茂し、水中にはスイレンなどが多く生育している。



池周りでは、観察のための踏圧によりシートが露出し、草本類が生育できない環境になっている。

調査時（平成16年7月下旬）



水面の確保を図るため、7月に草取り作業を行った。

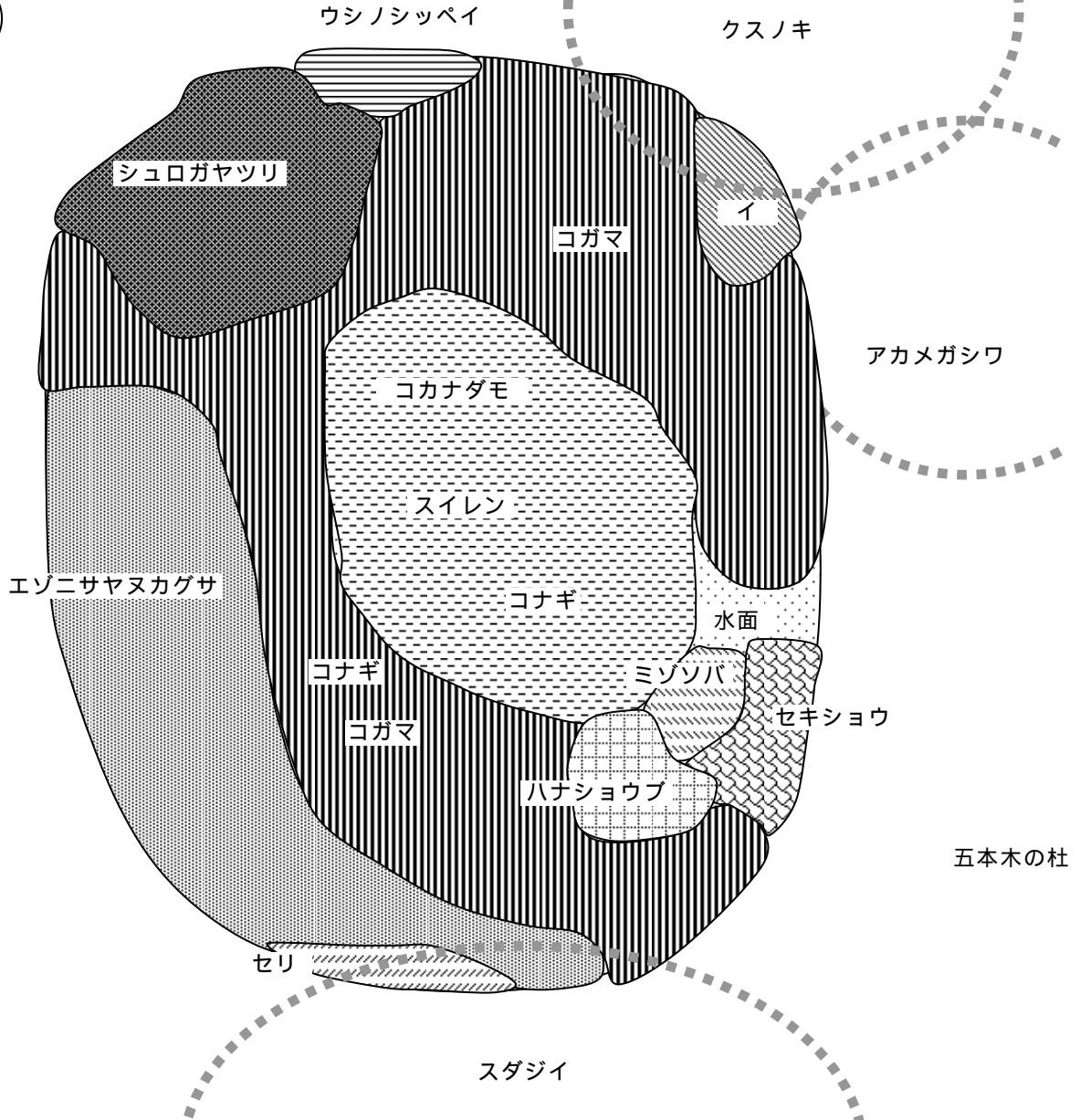


植物の単純化が進んでいるため、水際の土壌の再生が必要となっている。

五本木小学校
<平成13年度>



校庭

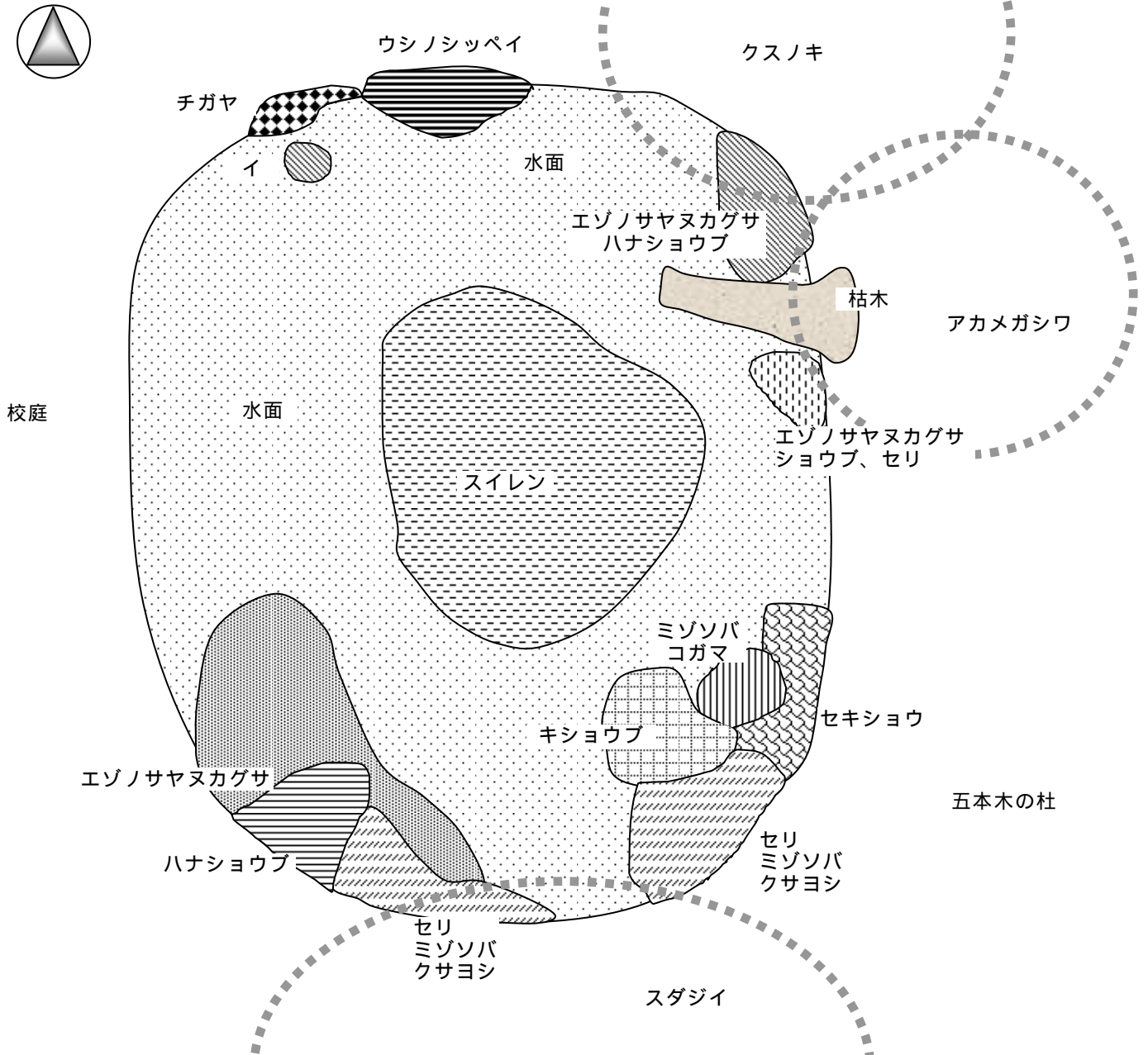


日当たりも良く、植生は多様性が高く、生育も良好である。そのため、水面の大部分が植物に覆われており、水面が確認できる部分が少なく、トンボ等の昆虫が見つけにくくなっている。

そのため、水面を覆う繁殖力の強いスイレン、コガマ、ショロガヤツリ、エゾニサヤヌカグサは9割を除去し、水面を確保する必要がある。また、水中のコカナダモの9割を除去し、水中の植物密度を低下させる必要がある。

このことによって、在来種のセリ、ミソソバ、イなどが繁殖しやすくなり、本来の生きもの環境の創出が可能になると考えられる。

<平成14年度>



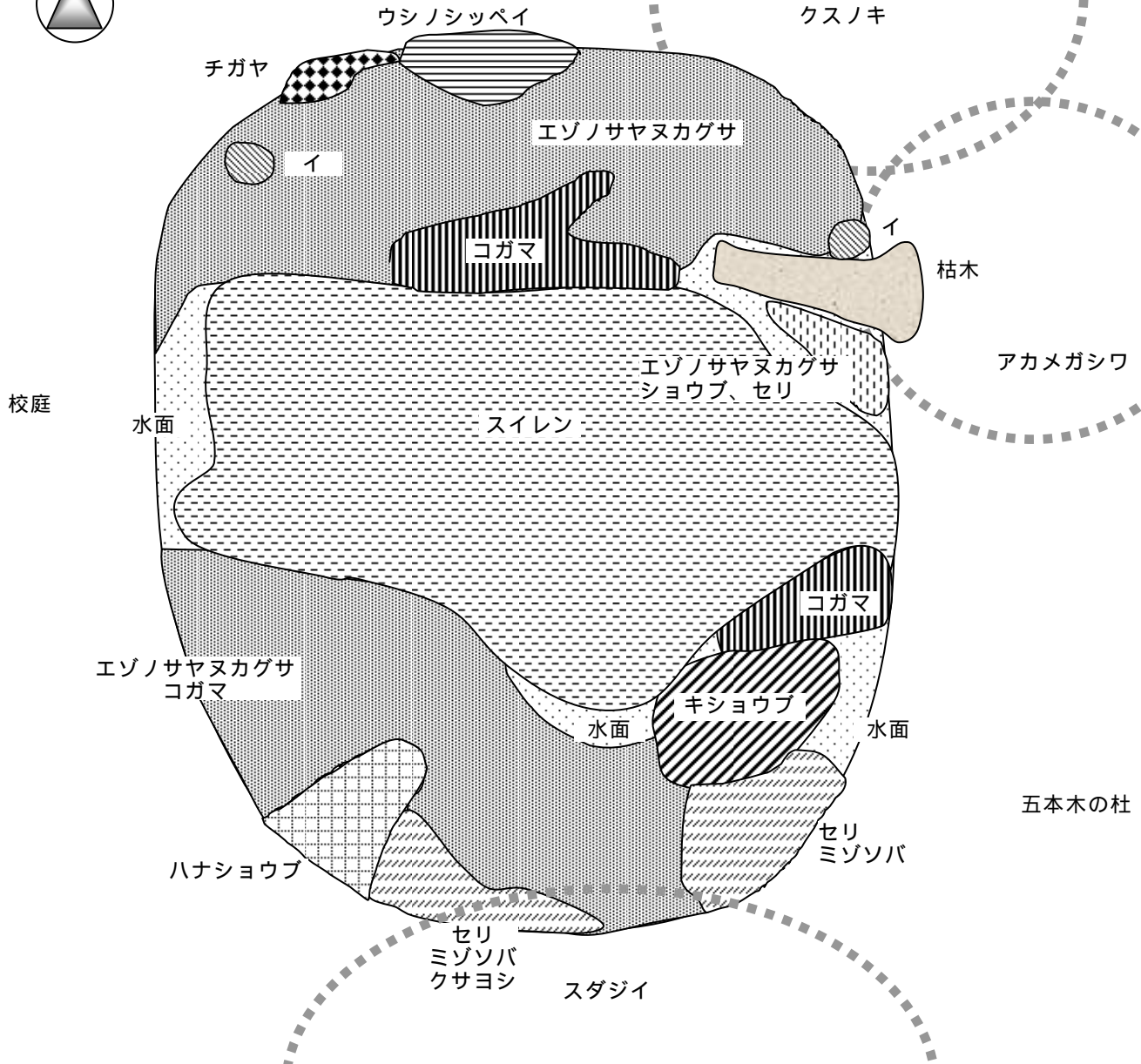
日当たりが良く、植物の多様性が高く生育も良好である。また、適度な除草が行われたため開けた水面が確保され、トンボ等の昆虫が多くみられる。

これまでと同様に、水面を覆う繁殖力の強いスイレン、コガマ、エゾノサヤヌカグサなどを今後も定期的に除去し水面を確保する必要がある。また、水中のコカナダモについても定期的に除去し水中の植物密度を保つことが必要である。

このことによって、減少が見られる在来種のセリ、ミゾソバ、イ、コナギなどが繁殖しやすくなると考えられる。

五本木小学校

<平成15年度>

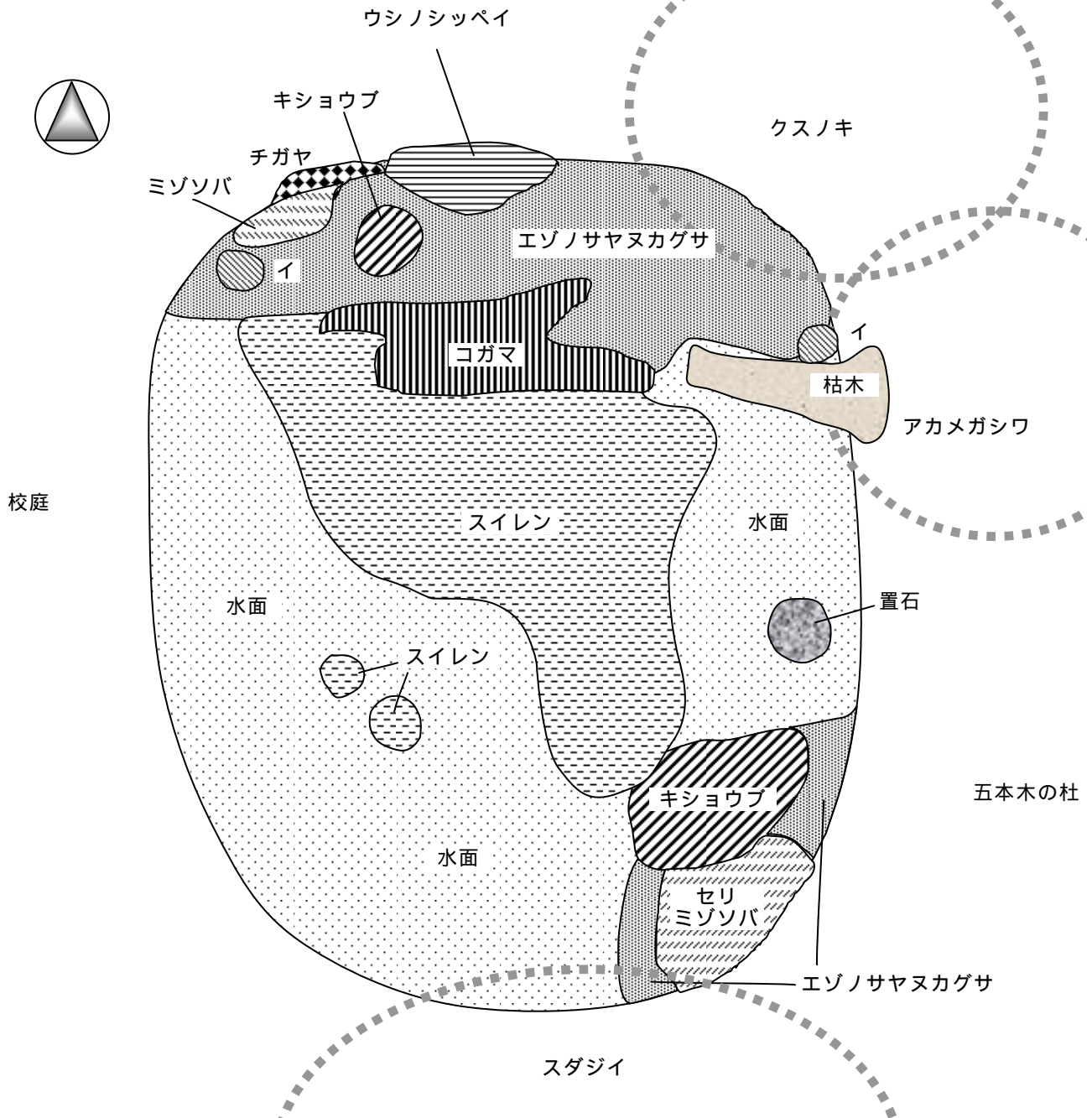


昨年度初めての植物管理作業が行われ、水中や水際の水草の繁茂は抑制されているが、スイレンの繁茂が著しく、水面を全面的に覆ってしまう勢いである。

そのため、繁殖力の強いスイレン(半分ほどに)を中心に、池中央に広がったコガマを除去するとともに、北側のエゾノサヤヌカグサ(2割ほどに)の抑制が必要である。また、水中のコカナダモについても適宜除去し、水中の植物密度を保つことが必要である。

このことによって、現在、生育範囲が押さえられている在来種のセリ、ミゾソバ、イは繁殖しやすくなると考えられる。また、周辺樹木(スダジイ、アカメガシワ、クスノキなど)の枝が伸長しており、秋には今後数年は池を覆わない程度の剪定が必要である。

<平成16年度>



繁殖力の強いスイレン、池中央に広がったコガマを抑制や北側のエゾノサヤヌカグサの抑制が必要である。また、水中のコカナダモは水質浄化に重要な役割持っているため、少し増やすようにする必要がある。

また、周辺樹木(スダジイ、アカメガシワ、クスノキなど)の枝が伸長しており、秋には今後数年は池を覆わない程度の剪定が必要である。

植物管理作業により、池周辺の植物は大きく減少している。メダカなどが観察しやすい状態となっているので、しばらく様子を見て植生の減少が継続するようであれば、土壌の補給や水草の移植どの対策をする必要がある。